



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンエー化研
コード番号 4234 URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤岡 宣隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 芝 彦尚

TEL 03-3241-5701

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	22,392	△1.5	904	524.5	1,051	303.5	720	271.7
27年3月期第3四半期	22,742	△9.5	144	△86.7	260	△77.9	193	△75.6

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 1,275百万円 (167.0%) 27年3月期第3四半期 477百万円 (△44.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	65.69	—
27年3月期第3四半期	17.67	17.66

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
28年3月期第3四半期	31,634		17,612		55.2	1,592.54
27年3月期	30,008		16,491		54.5	1,491.00

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 17,477百万円 27年3月期 16,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	29,500	△1.3	1,000	608.7	1,160	—	770	—
								70.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	11,320,000 株	27年3月期	11,320,000 株
28年3月期3Q	345,203 株	27年3月期	345,203 株
28年3月期3Q	10,974,797 株	27年3月期3Q	10,973,864 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は完了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済につきましては、欧米経済が、製造業を中心とする企業業績の改善と内需の底堅さを背景に、緩やかな回復途上にある反面、中国及び新興国においては、米国の利上げによって通貨安に陥っており、景気減速傾向は一層強まりつつあります。また、資源価格の下落に伴って資源国経済の悪化が懸念されており、今後の世界経済の不透明感はますます深まっております。

わが国経済においては、原油安とインバウンド需要に支えられ、幅広い業種で企業業績が改善しつつありますが、一方で、中国並びに資源国の景気減速の影響を受け、業績を下方修正する企業などもあり、混迷の様相を呈しております。

そのような状況下、当社グループにおきましては、前期後半から続く機能性材料部門の販売不振から完全に抜け出すことができず、グループ全体の売上高は減少いたしました。

反面、原油安の進行と材料選定の見直しにより、樹脂、プラスチックフィルムなどの原材料コストが低減し、収益性は大きく改善いたしました。また、各生産拠点における製造工程の見直しや原材料ロスの低減、在庫保有コストの圧縮などの合理化効果も加わり、大幅な増益となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高223億92百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益9億4百万円（前年同期比524.5%増）、経常利益10億51百万円（前年同期比303.5%増）、親会社に帰属する四半期純利益7億20百万円（前年同期比271.7%増）となりました。

セグメント別の状況につきましては、次のとおりです。

軽包装材料

食品用包材の分野では、イージーカットフィルム「ポロソ」が好調で売上を伸ばしました。清涼飲料用パウチも、秋口からの比較的温暖な天候により販売の落ち込みが緩和され、前期の水準に回復しました。一方、電子レンジ対応食品包材「レンジD o!」は僅かに受注が減少し、他の食品包材も低調であったことから、この分野では若干の減収となりました。

医薬品・医療用包材の分野では、高防湿PTPシート用フィルム「テクニフィルム」の販売が伸びましたが、その他の商品は競争激化により減収となりました。

電子・精密その他の分野では、電子部品用キャリアテープの落ち込みに加え、エア緩衝材「エアロテクト」もユーザーの生産調整により僅かに減収となりましたが、その他の包材の販売が伸びたことにより、増収となりました。

また、洗剤・トイレタリー関連の生産拡大と受注獲得が進み、売上増加に貢献しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は107億11百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

産業資材

テープ基材関連については、安価な海外製テープの流入により、国内のテープ市場が一部侵食されたことから、当社製品もその影響を受けましたが、国内の建設・物流業界が比較的活況であったことから、僅かに増収となりました。

剥離紙については、暖冬の影響により季節商品向けの出荷の立ち上がりが例年よりも鈍く、また、前年同期に大きく伸びた電子部品固定用などの輸出案件も、当四半期には勢いが鈍化しました。さらに、IT関連の分野に使用される電材用工程紙については、海外ユーザーからの受注が回復途上にあるものの、安定した復調には至らず、剥離紙全体で減収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は56億31百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

機能性材料

粘着塗工タイプの表面保護フィルム「サニテクト」については、光学用途の苦戦が続いておりますが、PET基材の「NSタイプ」の品質改善、改良により受注が回復し、増収となりました。

2層押し出しタイプの表面保護フィルム「PAC」については、同業他社との競争が激化する中で、ユーザーの品質要求に応えながら販売数量を伸ばし、増収となりました。

精密塗工タイプの表面保護フィルム「SAT」については、タッチパネル関連の部材メーカーからの受注が未だ回復に至らず、中国市場の開拓にも遅れが生じていることから大幅減収となりました。この分野では、付加価値を高めたSAT派生製品の開発・拡販が進展しましたが、他の落ち込みをカバーすることはできませんでした。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は56億58百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

なお、セグメント別の売上高は以下のとおりです。

セグメント別	売上高	構成比	前年同期比
軽包装材料	10,711百万円	47.8%	2.0%増
産業資材	5,631百万円	25.2%	2.8%減
機能性材料	5,658百万円	25.3%	7.8%減
その他	390百万円	1.7%	28.8%増
合計	22,392百万円	100.0%	1.5%減

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は前連結会計年度末と比べて16億26百万円増加いたしました。これは主に、新工場（掛川工場WEST）建設を中心とした建設仮勘定（有形固定資産 その他）が11億5百万円増加したことや、株式の時価増加等により投資有価証券が8億29百万円増加したこと等の増加要因がありましたが、現金及び預金が2億42百万円減少したこと等の減少要因に相殺されたためであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末と比べて5億5百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億98百万円増加したことや、未払法人税等が2億22百万円増加したこと、繰延税金負債（固定負債 その他）が2億75百万円増加したこと等の増加要因がありましたが、長期借入金金が1億80百万円減少したこと等の減少要因に相殺されたためであります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて11億20百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が5億67百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が5億47百万円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを勘案した結果、平成27年11月13日に発表しました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成28年2月12日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,440,353	5,197,795
受取手形及び売掛金	9,421,279	9,793,802
電子記録債権	934,503	1,034,139
商品及び製品	1,308,530	1,270,213
仕掛品	1,215,824	1,159,790
原材料及び貯蔵品	609,175	674,528
その他	426,078	169,687
貸倒引当金	△40,416	△42,221
流動資産合計	19,315,329	19,257,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,330,248	2,232,712
機械装置及び運搬具(純額)	925,776	781,382
土地	1,916,530	1,948,200
その他(純額)	203,751	1,283,342
有形固定資産合計	5,376,307	6,245,637
無形固定資産		
	17,628	18,545
投資その他の資産		
投資有価証券	3,664,917	4,494,155
関係会社出資金	692,778	677,054
退職給付に係る資産	851,655	854,650
その他	90,476	89,841
貸倒引当金	△730	△2,835
投資その他の資産合計	5,299,098	6,112,866
固定資産合計	10,693,034	12,377,049
資産合計	30,008,364	31,634,785

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,208,089	6,406,628
短期借入金	3,250,000	3,250,000
未払法人税等	—	222,624
賞与引当金	430,482	225,558
役員賞与引当金	7,800	—
その他	1,579,226	1,849,046
流動負債合計	11,475,598	11,953,857
固定負債		
長期借入金	450,000	270,000
役員退職慰労引当金	125,344	125,833
環境対策引当金	230,623	228,505
退職給付に係る負債	474,953	471,310
資産除去債務	100,548	101,152
その他	660,175	872,116
固定負債合計	2,041,645	2,068,918
負債合計	13,517,244	14,022,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,000	2,176,000
資本剰余金	2,136,756	2,136,756
利益剰余金	11,061,237	11,628,528
自己株式	△115,955	△115,955
株主資本合計	15,258,038	15,825,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,015,411	1,563,283
為替換算調整勘定	93,406	79,477
退職給付に係る調整累計額	△3,349	9,734
その他の包括利益累計額合計	1,105,467	1,652,495
非支配株主持分	127,613	134,184
純資産合計	16,491,119	17,612,009
負債純資産合計	30,008,364	31,634,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	22,742,412	22,392,368
売上原価	20,421,846	19,302,453
売上総利益	2,320,566	3,089,914
販売費及び一般管理費	2,175,663	2,185,050
営業利益	144,903	904,863
営業外収益		
受取利息	453	825
受取配当金	80,507	88,416
作業くず売却益	44,584	41,864
クレーム収入	22,644	26,452
その他	16,867	24,455
営業外収益合計	165,056	182,015
営業外費用		
支払利息	27,411	22,436
持分法による投資損失	7,937	1,795
その他	14,069	11,329
営業外費用合計	49,418	35,562
経常利益	260,540	1,051,315
特別利益		
新株予約権戻入益	17,956	—
特別利益合計	17,956	—
税金等調整前四半期純利益	278,497	1,051,315
法人税、住民税及び事業税	10,290	220,154
法人税等調整額	72,791	103,039
法人税等合計	83,082	323,194
四半期純利益	195,415	728,121
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,480	7,183
親会社株主に帰属する四半期純利益	193,935	720,938

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	195,415	728,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	232,799	547,960
退職給付に係る調整額	15,277	13,084
持分法適用会社に対する持分相当額	34,126	△13,928
その他の包括利益合計	282,203	547,115
四半期包括利益	477,619	1,275,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	475,828	1,267,965
非支配株主に係る四半期包括利益	1,790	7,271

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失(△)の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	10,506,694	5,793,568	6,138,823	22,439,087	303,325	22,742,412
セグメント利益又は損失 (△)	226,350	5,791	△111,740	120,402	24,500	144,903

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	10,711,680	5,631,410	5,658,699	22,001,791	390,577	22,392,368
セグメント利益	597,892	179,263	72,201	849,356	55,507	904,863

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。